



川上村コーラスグループ
「華音」

山々にこだます、美しい響き

6月11日（日）、丹生川上神社 上社にて龍神芸能奉納祭が執り行われました。龍神様を祀る^{まつ}地で、水の恵みに感謝を込めて、村内外から7つの奉納団体が集い、和太鼓の迫力ある音から大正琴の繊細な音色まで、さまざまな“芸能”を披露しました。

● 主な内容 ●

第4回村議会定例会	2
ブロンズリーフ賞受賞	4
かわかみらいふ通信	10
かみせ祭のお知らせ	13
役場職員募集	20



広報かわかみ

平成29年7月10日発行

発行 奈良県川上村

編集 川上村広報編集委員会

〒639-3594 奈良県吉野郡川上村大字迫1335番地の7

TEL. 0746-52-0111

ホームページアドレス <http://www.vill.kawakami.nara.jp>

メールアドレス soumu@vill.nara-kawakami.lg.jp



一、私たち川上は、川上における自然とのつきあいが、地球環境に対する人類の働きかけの、すばらしい見本になるよう努めます。

(川上宣言は全部で6つの項目になります。毎号1項目ずつ掲載していきます。)

第4回 川上村議会定例会

平成29年度第4回川上村議会定例会が6月14日に開会されました。
平成29年度一般会計の補正などについて審議され、全議案が原案どおり可決、承認されました。
また、松本博行議員、津本多正議員から一般質問が行われました。

◎専決処分の承認を求めることについて

◆平成28年度一般会計予算補正

歳入歳出予算額は27億8,799万6千円となっています。これは、昨年の熊本地震や台風10号による被害への災害復興支援費の増加に伴う特別交付税の減額や、事業費確定に伴う財源調整が行われたものです。

◆村税条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部改正に伴い、村条例を改正するもので、土地の長期譲渡所得に係る課税特例の適用期限を3年間、軽自動車のグリーン化特例税率の適用期限を2年間延長することなどが改正の内容です。

◆村国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国民健康保険法施行令の改正に

伴うもので、低・中所得者の保険税負担の軽減及び負担の公平性を図る目的として保険税の所得判定基準額を引き上げることが改正の内容です。

◆村消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

非常勤消防団員に係る損害補償の基準を定める政令の改正に伴うもので、公務中に死亡もしくは負傷した場合の補償基礎額を変更することが改正の内容です。

◎平成29年度一般会計予算補正について

既定の歳入歳出予算に2,453万円を追加し、予算総額は32億8,353万円となりました。これは、総務省の過疎地域等自立活性化推進交付金の上限2,000万円満額採択に伴い、交付対象で

あるガソリンスタンド事業の実施主体、一般社団法人かわかみらいふに対して村が支出するものです。その他には地域おこし協力隊事業の増額が主な内容です。

◎村農業委員会委員の選任について

平成29年7月19日の任期満了に伴い、新たに7名の農業委員会委員を選任することについて、議会の同意を求めるものです。これは農業委員会等に関する法律の改正により、委員の選出方法が選挙制から村長の任命制に変更されたため、議会の同意を求めるものです。

◎繰越明許費繰越計算書の報告について

大滝ダム周辺施設整備事業、住民基本台帳ネットワーク等事業、林道開設事業、地籍調査事業の全

4事業の実施を延期することが明らかになったことから、本年度予算に繰り越す計算書を報告したものです。報告された繰越額はそれぞれ、3,217万1千円、12万4千円、880万円、162万円となりました。



都市と地方の垣根を超えて

6月19日から23日にかけて、人事院の初任行政研修として今年度国家公務員として新規採用された新人職員3人が、また同月26日から30日にかけて、総務省の新しい取り組みである「ふるさとテレワーク」の試験的实施として、同省自治行政局地域創造グループの職員1人が、川上村を訪れました。いずれの訪問でも、水源地の村づくりや都市にはない豊かな暮らしづくりのための取り組みを、実際に目で見て、手で触れて、肌で感じて貰えたのではないかと思います。

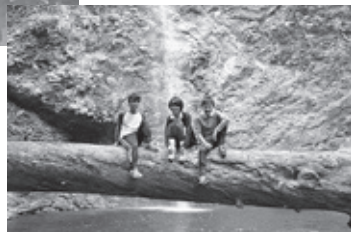
人事院初任行政研修

今年で受入れ8年目を迎えた同研修は、行政ニーズの多様化をうけて、社会福祉施設や地方自治体での実地体験を通じて、全体の奉仕者としての使命感の向上や、全体の視点から施策を行う能力を養うことを目的としたものです。今年度は、警察庁、文部科学省、農林水産省の新人職員が、水源地の森や村内施設を訪問し、豊かな森と水を守っていく事の大切さや、村が取り組んでいる住民に寄り添う行政を体感しました。3人とも都会育ちで、澄みきった川の水や見渡す限りの森林など見たことのない光景に目を輝かせていた一方で、国の職員として村の抱える課題への解決策を提案し、真剣に議論を交わす姿がみられました。

最終日には「川上村は第2の故郷です。絶対にまた帰ってきま



水の心地よさ、森の冷たさ、水源地の透明度と冷たさを感じてくれました。



研修成果発表では、自分たちの考える村の課題や可能性を話してくれました。

す！」と力強く語り、別れを惜しみながらそれぞれの帰路につきました。

これからの日本を背負って立つ彼らと、地方と国の垣根を超えて村の活性化のために協力していきます。

ふるさとテレワーク実施体験

これは、総務省の新たな政策を企画・立案する立場の担当職員が地方に訪れ、「ふるさとテレワーク」方式を活用することで、通常業務をこなしながら地方の実情を把握・体感するという新しい試みです。対象となる全国8市町村の中に川上村が選ばれ、同グループ地域情報政策室の若林拓課長補佐が来村されました。若林補佐は役場の一室に拠点を置き自らの業務をこなす一方で、フィールドワークや村の職員との意見交換を通じて、水源地の村づくり、定住・移住や林業再生の取り組みを視察されました。



視察の様子



役場会議室にて通常業務をこなす若林課長補佐

ふるさとテレワークとは？



インターネットなどの情報通信技術を活用して地方（ふるさと）にいながら都市部の仕事をするという新しい働き方。

視察を通じて若林補佐は、「過疎化への解決策として新しい取り組みを積極的に進めたい。水源地の村づくりや林業再興のように古き歴史も大切にしているという印象を受けた。また村民や職員の主体性・自主性を尊重し、推進力をもって課題解決に取り組んでいる。買い物難民や孤独死の問題などは、今後都市部でも直面するであろう課題であり、川上村には都市・地方を問わず、課題解決へのモデルケースになってほしい」と話してくれました。

IFDA
INTERNATIONAL FURNITURE DESIGN AWARDS
ASAHIKAWA 2017

堂々の銅賞！

川上村から世界へ！

6月21日から25日にかけて、旭川市（北海道）にて、第10回国際家具デザインフェア旭川（IFDA）が開催されました。メインイベントの木製家具コンペティションで、本村地域おこし協力隊の平井健太さんが、世界30か国・683点の応募の中から、銅賞にあたる「ブロンズリーフ賞」を受賞しました。

今回受賞した作品は、吉野杉を使用した木製座椅子。細やかで美しい木目の特性を生かし、独自の加工技術を用いて美しい曲線美を描き出しています。杉独特の温かみと、その軽さという利点を生かした、実用性にも優れる作品で、「日本式座椅子と吉野杉の新たな可能性を感じさせる作品である。優しい造形で、背もたれは柔らかさがあり、見た目だけでなく座り心地も素晴らしい」と評価されました。

現在、精力的に作品制作を行っている平井さん。今後も彼の作品から目が離せません。



自身の作品についてプレゼンする平井さん

こんにちは、地域おこし協力隊の平井です。

川上村へ移住して1年半経ちました。

私は、前職の経験を活かし、吉野杉を活用した家具を制作・販売する「studio Jig」という事業を行っており、現在は試作を重ねつつ、吉野杉の家具を開発しています。

昨年7月より工房を稼働し、1年で3つの試作品を開発することができました。

そのうちの1つが、先日、旭川市（北海道）で3年に1度行われる「国際家具デザインフェア旭川2017」のデザインコンペティションにて、銅賞にあたる「ブロンズリーフ賞」を受賞しました。

このコンペは国際的にも有名で、木製家具業界の登竜門でもある大きなものです。そのようなコンペでの受賞であり、大変光栄に思います。また、吉野杉の品質と自身のもつ技術によって完成した作品が評価される事は、吉野林業の振興にも関わる活動として、大変うれしく、誇りに思います。

ただ、今回の結果に慢心することなく、今後も吉野杉と真摯に向き合い、実直に開発を進め、任期終了後も事業を継続し続けていきたいと、改めて思いました。

最後になりますが、移住してからの1年半、活動を支えてくれた多くの皆さま、同じ地域おこし協力隊のメンバー、そして、毎日美味しいご飯を作ってくれる妻に感謝の気持ちを表したいと思います。ありがとうございます。

そして、これからも、よろしくお願いいたします。

地域おこし協力隊

平井健太さん



【問い合わせ先】

定住促進課 TEL 52・0111

川上村×大
学
連携事業

祝！
20周年

木匠塾林業体験

6月10日・11日（土・日）、川上木匠館（東川）周辺にて、今年で20周年を迎える川上村木匠塾の林業体験が実施されました。

大阪工業大学、滋賀県立大学、大阪芸術大学、奈良女子大学、近畿大学の学生67名が参加し、材の伐採・出材・皮剥ぎなどを体験しました。雲一つない快晴のもとでの実施となり、学生たちは額に汗をにじませながら鋸を引き、伐採した材をみんなでかついで運びました。皮を剥いだ材は木匠館で乾燥させ、8月に行われるサマースクールにて作品制作に使用されます。



絶好の木匠日和となりました！

す。また9月には、木匠塾20周年記念式典がやまぶきホールにて開催されます。

親子理科教室

6月11日（日）、川上小学校（西河）にて、大阪工業大学の協力による親子理科教室「光るLEDバッジの制作教室」が行われました。教授や学生アシスタントの指導のもと、「はんだ付け」と「バッジのお絵かき」の2グループに分かれ、親子で相談しながらそれぞれ思い思いのバッジを作成しました。

子どもたちはもちろん、大人、特にお父さんたちは昔を思い出したように夢中になっていました。中には子どもよりも真剣になって熱中しているお父さんも見られました。



大人も子どもも夢中になりました！

この日は親子給食と授業参観も実施され、子どもたちはお父さんやお母さんと一緒に過ごし、楽しい思い出になったのではないのでしょうか。



完成したLEDバッジ

**「おかげさま」が つなぐ
水のつながり**

6月13日(火)、水源地交流水田(檀原市)にて川上小学校の5年生が檀原市立今井小学校の5年生とともに「田植え体験」を行いました。

昨年に引き続き実施されたこのイベントは、平成23年11月に本村で行われた「おかげ米」贈呈式を契機とし、大和平野土地改良区と川上村が「水のつながりプロジェクト」として水の大切さと地域のつながりを学ぶことを目的として実施しているものです。



コツをつかんで熱心に植えていました



川上・今井両小学校の児童たちと
水土里の会のみなさん

児童らはお互いに名刺を作成し自己紹介をした後、地元農家「田中町水土里の会」のみなさんの指導を受けながら一生懸命に苗を植えていました。

川上小学校の児童たちからは、「田植えは去年に続いて2回目だったので上手くできた」「普段かかわりの持てない小学校のみんなと話が出来て楽しかった」という声があがっていました。

両小学校は年間通して交流し、9月に川上村で水生生物の観察会と環境学習、10月には稲刈り体験を行う予定です。児童たちの友情がいつまでも続くことを願います。

**郷土の味に舌つづみ
「学び、つくり、味わう」**

6月14日(水)、ホテル杉の湯(迫)にて「第4回柿の葉寿司祭」が開催され、村内外から18名が参加しました。

郷土食「柿の葉寿司」の作り方を学んでもらうと同時に、普段あまりなじみのない人に柿の葉寿司の味を知ってもらおうと、村と杉の湯、村内事業所の協働により実施されました。

参加者は、柿の葉寿司店主をはじめとした講師に指導を受けながら、新緑の葉を使っの寿司づくりに熱心に取り組んでいました。



柿の葉寿司づくりの様子



次回開催をお楽しみに！

寿司を包装するラベルも自分で作成し、中には店頭で販売できそうなくらい凝ったデザインのものも見られました。

また村内8店の柿の葉寿司をつめ合わせた昼食弁当も好評でした。参加者からは、「柿の葉寿司はよく食べるが、実際に作ったことはなく新鮮でした」「体験もでき、おなかいっぱいにもなり大満足です。次回開催の際は是非知らせて下さい」という嬉しい声も聞かれました。こうした反響を受けて、今秋にも再び同イベントの開催を予定しています。

【問い合わせ先】

水源地課 TEL 52・0111

遠く離れた異国との絆

6月17日(土)、モンゴル国副領事が来村され、村長に感謝状が手渡されました。

これは、モンゴル国立馬頭琴交響楽団の川上村公演をたびたび開催するなど、日本とモンゴルの友好関係の構築に貢献してきたとして贈呈されたものです。

モンゴルは「水源地の国」と言われており、会談の席で副領事は「『水源地の村』としての川上村の水に対する姿勢や取り組みを学ぶため、本国でのシンポジウム開催の際には、ぜひ講演者としてお越しいただきたい」と話してくれました。



両国の友好が末永く続くことを願います

村民の安心・安全を守るための合同訓練を実施しました!



6月10日(土)、川上村消防団第5〜8分団の合同訓練が下多古区内において実施されました。この訓練は、同地区にて火災が発生したときを想定し、各分団が連携して消火活動を行うものであり、有事の際に円滑な行動ができるよう、1年に1度実施しています。

当日は22人の分団員が参加し、給水地点から約440m先の浄化槽付近まで中継、放水を行いました。みなさんの迅速な行動により、スムーズに消火活動が行われました。

道具づくり教室 やってきます!



これは教育委員会主催の「生涯学習教室」の1つで、2週間に1回、北和田のふれあいセンターと西河の公民館にて実施されています。

ミニ盆栽、木を使ったスプーンやトレイの製作を、匠の聚の先生が講師として丁寧に教えてくれるので、初めての方でも安心して参加できます。

教室後は、お茶をしながらみなさんと話に花を咲かせています。「普段なかなか大勢で話をする機会も少ないので、このお茶会目当てで参加しています」という方もおられました。

ちいさな訪問者たち

やまぶき保育園の園児たちが総合センターやまぶきホール(宮の平)を訪れ、デイサービスのみなさんと交流しました。

ユーモアあふれるおじいちゃんおばあちゃんの自己紹介に、園児たちからは大きな笑い声が上がります。一方で園児たちのあどけない姿に、おじいちゃんおばあちゃんもまた満面の笑みを浮かべていました。みなで一緒に遊戯をしたり、肩たたきをして過ごした後、最後には「また来るのでみんなで一緒に遊びましょう!」と約束して、保育園へと戻りました。



かわいい園児たちを前にみなさん自然と笑顔になりました

かわかもんがゆく。

— 地域おこし協力隊活動記 —



初めまして、**田のゆうた**です。6月から川上村地域おこし協力隊となり、井光に住んでいます。趣味は魚釣り、淡水海水問わず、特にルアーフィッシングが大好きです。

僕は、福岡県で生まれ育ち、高校を卒業した後に、大阪の専門学校で水産増養殖学を勉強しました。子どもの頃から魚が好きで、魚に関係する職業で暮らしていくことができればどんなに幸せだろうと思ひ、協力隊に参加しました。

山に囲まれた場所での生活は初めてで、不安も大きかったけど、気合でなんとかなると思ひました。実際に暮らして数週間が経ちますが、自然は綺麗で空気やご飯も美味しく、毎日最高の環境でとても楽しく働かせてもらっています。

井光の人たちもとても暖かく、気軽に話しかけてもらえるのでとても感謝しています。コミュニケーションがそんなに上手ではない僕でもさみしい思いをすることはなさそうです。

養魚場の生産量上げて、魚を使った加工品を開発。そして、川

上村をもっと元気に有名にしたいのが僕の目標です。そのためにも村の人たちをはじめ、いろいろな人と関わって、意見を交換し、たまに遊んだりしながら一歩ずつ前に進んでいきたいです。

釣具店で勤務していた経験もありますので、釣り好きな方、釣りをやってみたい方がいらっしゃいましたら、お気軽に声をかけてください。もちろんそうでない方も楽しくお話したいので、どうぞよろしくお願ひします。

(田野 雄大)



こんにちは
保健師です



今回のテーマは「睡眠」についてです。みなさんは、日頃の睡眠で疲れがとれていますか？

睡眠不足の人は、生活習慣病の原因になることがわかってきました。また、日頃の睡眠が満足にとれているかどうかは、こころの健康と強く関連していることも報告されています。

必要な睡眠時間は人それぞれで、食欲、気分や季節によって変動します。また、年をとるにつれて徐々に短くなります。大切なのは、時間ではなく「睡眠の質」です。睡眠の質を高めるにはいくつかのポイントがあります。

○朝、目が覚めたら日光を浴びる。

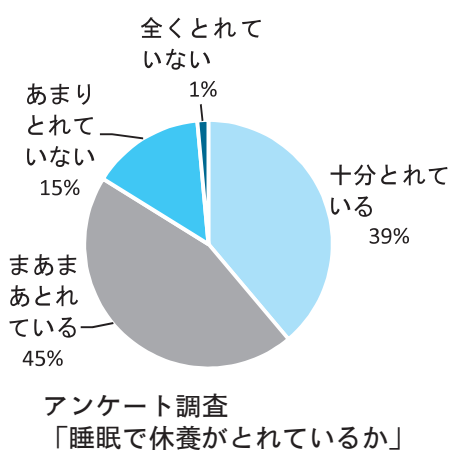
起床後、太陽の光を浴びることで、体内時計のリズムがリセットされ、15〜16時間後に眠気が出てきます。また、昼寝は必要以上に長く寝すぎると目覚めの悪さが生じるので、30分以内が望ましいと

されています。夕方以降の昼寝は夜の睡眠に影響するので、15時までにとるようにしましょう。

○布団に入って30分以上たったら、寝床を離れて気分を変えてみる。

寝床で眠れずに苦しむ体験が続くと、寝床と眠れないことが関係づけられ、床に就くとかえって目がさえてしまうようになります。

なお、高齢者の暮らしアンケート調査では、「日頃の睡眠で休養が取れている(疲れがとれている)と思ひますか」という質問に対して、約84%の方が「十分とれている」「まあまあとれている」と回答されました。



村づくり塾 活動中です！

今後の村づくりについて、学び・考える「村づくり塾」が活動しています！

活動内容は村内見学や講師を招いての講演会、ワークショップや会議などです。

今回は、下記の通り会議を行います。どなたでもご参加いただけますので、お気軽にお問い合わせください。ご参加をお待ちしております。

と き 7月27日(木) 19:00～
と ころ 役場第二会議室
内 容 平成29年度事業計画について検討

【問い合わせ先】

定住促進課 TEL 52-0111

「頑張ります！」

「果敢です！」

行政職員でさえ普段あまり耳にしない「町村総会」という言葉が、にわかには話題になっています。これはある意味「地方(山村)の「深刻さ」を浮きぼりにしたものである」とも言えます。

地方自治法では、地方公共団体の長の役割を「当該地方公共団体を統轄し、これを代表すること。事務を管理し及びこれを執行すること」とし、議会の役割を「条例や予算など地方行政に関する事件を審議し議決すること」としています。そして「町村に限り、議会を置かずには有権者が議案を直接審

議する総会を設けることが出来る」と定められています。

このほど高知県大川村の村長は、議会の存続を前提としつつも、村議会にかわる「町村総会」を設ける検討をはじめることとしました。これは衝撃的な発言です。

村長の本意がどこにあるのか定かではありませんが、議員の担い手不足が要因であるとしつつも、停滞気味の地方自治の活性化をねらい、自治のあり方を考えることを提案されたのでは、と私は推測します。現在本村が直面している課題ではありませんが、これを機に「政治のあり方」や「行政への関心」などについてそれぞれが考え、「自分たちの村は、自分たちで守る」ことの議論が深まる機会になればという思いです。

清流

振り返ってみると、北和田から高原に嫁いで65年が経ちました。水没する前の丹生川上神社で式を挙げて、訪問着でこぼこの急坂を登りました。途中で2回ほど休みましたが、高原は北和田と違って平らな道がありません。後ろを押す役の人もいたぐらいです。「何というところや」と思ったことを覚えていきます。

それからの生活でつらかった事と言えば、私は畑仕事をしたことがなく、「まずは肥を運ぶ練習から始めなあかん」と思い、夜みんなが寝静まってから、水の入った2個のバケツをちゃぶらないでかつぐ練習を何日もしたことでした。

その後27年間は都会暮らしをしていました。

そして故郷に帰ると、友達もみんな元気で活躍しているのがうれしかった。以前に比べると、図書館、カラオケやグラウンドゴルフなどの設備が整い、買い物にはらいふ号もあり、「便利になったなあ」と思いました。

先日、NHK放送の「ええとこ

日本」の取材があり、高原に昔から伝わる食文化や暮らしぶりなどが紹介され、私も少し映りました。放送後に、大阪にいる家族から「見たよ、おばあちゃん」「若々しかったよ」といううれしい便りもあって、日常の中の故郷の良いとを再認識しました。また、ささやかな菜園で作った野菜を「やまいき市」に出荷させて頂いています。毎週何を出そうか、また何を作ろうかと考えるのがとても楽しみです。

川上村の四季の風景は、都会と違ってよどみがありません。澄みきった空気、草花の色、どれも大好きです。

台所に立って小鳥のさえずりを聞いていると、つい「ふるさと」の唄を口ずさんでしまいます。

この時代に生まれ合わせた喜びと、今の自分の健康に感謝しつつ毎日を過ごしています。

さて、昨日から梅雨入りです。しばらくは草との格闘です。

中井 旬





かわかみらいふ通信

かわかみSS おかげ様で大好評！ 毎週金曜は「村民特売デー」

かわかみSSでは…

混合油の販売

いつも草刈りご苦労様です。草刈り機の混合油や、チェーンソーオイルもおまかせください。

タイヤの空気圧点検

みなさんの快適なドライブを守るため、私たちが丁寧に点検します。ご希望の方は給油の際にお気軽にお声かけ下さい。



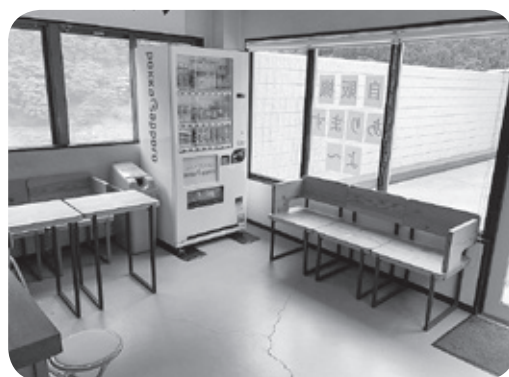
こんなコトもやっています！

宅急便の受付

ヤマト宅急便の荷物受付もしています。給油のついでにお持ちください。

休憩所

飲み物の販売機を設置しました。ちょっと一息していきませんか？



町のSSで給油するより…、村外の灯油宅配を利用するより…、「かわかみSSなら損はしないよね！」と思ってもらえるようスタッフ一同頑張ります！

【問い合わせ先】かわかみSS TEL 52-0725 店長：いわた スタッフ：かめい・うえひら



嬉しいです。遊びに来てくださると嬉し
定等も行っています。
操教室の際には血圧測
ているので、卓球や体
あいセンターに常駐し
その他の時間はふれ
仕事です。

の宅配に同行し、保健師の立場から食事や健康
についてみなさんと楽しくお話しをしています。
黄緑色の目立つ車に乗って、みなさんのとこ
ろへ出向くことが私の

みなさんこんにちは！保健師の本です。
役場をとびだし、かわかみらいふに常駐する
ことになって約3か月が、そして川上村に移住
して1年が経ちました。相変わらず虫は怖いで
すが、毎日が新しい発見に満ちていてとても楽
しいです。
かわかみらいふでは役場や診療所から距離の
ある東部地区を中心に、移動スパーやコープ

ふれあい保健師日記



図書館だより

川上村立図書館は開館15周年!

7月17日は漫画の日!

図書館には難しい本ばかり??
いえいえ、そんなことはありません。
漫画の貸出もOKです!



「この世界の片隅に」

こうの史代

「BLACK JACK (ブラックジャック)」

手塚 治虫



「山賊ダイアリー」

岡本健太郎



「動物のお医者さん」

佐々木倫子

他にも・・・「サザエさん」「エースをねらえ」「コミック昭和史」「天然コケッコ」「陰陽師」「岳」「火の鳥」「夜明けの図書館」など揃えてお待ちしております!

図書館 DE トーク!!

涼しい図書館でおはなししませんか?
毎日の出来事や、今気になっていることなど
本にこだわらなくても結構です。
夜には参加できなかった方や、小さいお子様連れの方も大歓迎!
もちろん、おすすめ本の紹介もお待ちしております!

と き 7月21日(金) 13時30分～

ところ 図書館

【問い合わせ先】 川上村立図書館 TEL 52-0144

お知らせ

・「かわかみらいふ」の図書コーナーに名前がつけました!

「かわかみらいふ ふれあい文庫」です。

今後も皆さんのふれあいの場となるような、親しみやすい本をそろえていきますので、どうぞお立ち寄りください!

・「夏休み 宿題大作戦!!」

夏休みの宿題の参考になるような本を集めて、小、中学生の皆さんの来館をお待ちしています!
涼しい図書館で、集中して宿題に取り組みませんか?

と き 8月1日(火)～8月10日(木)

図書館カレンダー

● 色の日が休館日 ●

日	月	火	水	木	金	土
						1
❖	2	3	4	5	6	7
7	9	10	11	12	13	14
月	16	17	18	19	20	21
❖	23	24	25	26	27	28
	30	31				

日	月	火	水	木	金	土
❖			1	2	3	4
8	6	7	8	9	10	11
月	13	14	15	16	17	18
❖	20	21	22	23	24	25
	27	28	29	30	31	



「吉野葛・盲目物語」

谷崎潤一郎(新潮文庫)

後南朝を題材とする歴史小説を構想していた主人公が、吉野に縁を持つ友人を旅の案内役に、それぞれの亡き母へ思いを馳せる物語。

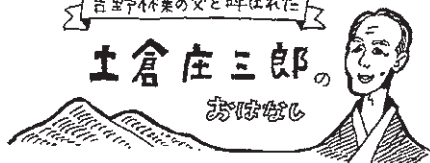
話は吉野の親しみのある地を巡りながら、やがて川上の地で結ばれます。

冒頭部分からは、ロマンあふれる後南朝への作者の思いを感じ取ることができます。

吉野林業の父と呼ばれた

土倉庄三郎

おぼろ



昨年「土倉庄三郎翁 没後百年記念事業」で、同志社大学の総長と対談された本井康博元教授。著書「自己発見のピルグリム」では、同志社史や新島襄を研究してこられた見地から、広岡浅子や成瀬仁蔵と土倉翁の関係について触れられています。

同志社大学設立に、土倉翁やその家族が果たした役割がいかに大きかったかを改めてひもといてみてはいかがでしょうか?

～樹と水と人の共生・川上村の情報～

かわがみ満足ガイド

匠の聚

あかりの森時間

静かな森を彩るロウソクのあかりと心地良いカフェ。満点の星空を眺めながら自由に過ごす贅沢な時間。この日は匠の聚住人が会場を手づくりし、森を訪れた方をおもてなし。村の大人や子供たちがたくさん集い、お酒を交わしながらおしゃべりしたい。心がウキウキする森の時間をお楽しみください。

とき 7月29日(土) **じかん** 午後7時～9時
ところ 匠の聚イベント広場 ※雨天中止

【問い合わせ先】 《匠の聚 TEL 53-2381》

今年の夏も匠の聚では様々な体験ができるワークショップを企画しています。

匠の聚で開催する遊水フェスタワークショップは今号折込チラシをご参照ください。

●近鉄百貨店橿原店 ～夏休みこども博 in 近鉄かしはら～

とき 8月4日(金)
じかん 午前10時～午後5時
内容 ①木のカタラーズづくり
②トントン小さな家具づくり **【要予約】**

講師 木工・栗生雅史
※「トントン小さな家具づくり」は事前予約が必要。詳しくは、近鉄百貨店橿原店のHPをご覧ください。

【問い合わせ先】
《近鉄百貨店 橿原店 TEL 0744-25-1111 (代表)
担当：販売推進課 榎北・杉山》

●奈良県立万葉文化館

- ◆7月22日(土)
 - ①ゴーゴー！あにまるトレインづくり**【要予約】**
 - ②べんがら染め体験
- ◆7月23日(日)
 - ①サンドブラスト
 - ②カタラーズづくり
- ◆7月29日(土)
 - ①木のくるまづくり
- ◆8月19日(土)
 - ①木のピンボールづくり **【要予約】**
 - ②織機のお土産つき！ボード織体験

【問い合わせ先】
《奈良県立万葉文化会館 TEL 0744-54-1850》

森と水の源流館

●源流のつと「東熊野街道ウォーク」

東熊野街道は、土倉庄三郎翁が計画し明治20年に完成しました。現在の国道169号線の原型となり、吉野と熊野を結び、様々な歴史を育んできました。特に川上村柏木～伯母谷は途中で世界遺産大峯山への古道ともつながり、茶屋跡や丁石が点々と続きます。この区間をハイキングし、その後は多くの修験者たちも宿泊した宿「朝日館」で源流スイーツを味わいます。

とき 7月15日(土) 午前10時～午後3時30分
ところ 伯母谷～柏木

(森と水の源流館集合・解散)

定員 20名 小学生以上
参加費 一般 4,500円
小中高生 2,300円

●企画展「ばった Batta to バッタ展」

川上村の昆虫を長きにわたって記録し続けた昆虫生態写真家の伊藤ふくおさんが図鑑などに使用した川上村の昆虫の写真の原画等を展示します。

とき 7月1日(土)～10月29日(日)
入館料 一般 400円 小中生 200円

展示についてのミュージアムトークを8月11日(祝)森と水の源流館、8月13日(日)ふれあいセンター(ミニ観察会あり)にて行います。

●8月16日(水)臨時開館

【申し込み・問い合わせ先】
《森と水の源流館 TEL 52-0888》

かわがみ遊水フェスタ

村内各団体・施設で開催するかわがみ遊水フェスタ。様々なワークショップを予定しておりますので、ぜひお立ち寄りください。
※詳しくはパンフレットをご覧ください。

ふるさと市開催日

【7月】 15日・16日・17日・23日・30日
【8月】 11日・12日・13日・20日・27日
【問い合わせ先】 《地域振興課 TEL 52-0111》

夏の風物詩！「かみせ祭」

かみせ祭では、村民の皆様への感謝と、事業所のPRとして川上ブランドの商品・サービスの情報発信をすることで、村内経済の活性化を目指します。

と き 8月5日(土) 午後4時～ 雨天決行(中止の場合は防災放送で連絡します。)

と ころ 迫 商工会周辺(駐車場:役場駐車場・宮の平駐車場・佐本)

タイムスケジュール

16:00～16:40	オープニング 和太鼓ちびっこ龍幻 実行委員長挨拶
16:40～17:10	かみせブランド事業所紹介 (〇×クイズ形式)
17:40～18:40	ビンゴ大会
18:40～19:40	盆踊り
19:40～19:55	お菓子まき、エンディング
20:00～20:30	花火大会

※進行の都合上時間がずれる場合があります。



・ビンゴ大会(16:40～17:40 受付)
中学生以下のお子さん限定のビンゴ大会です。豪華景品をご用意していますので、みなさん奮ってご参加ください。(先着200名)

・かみせブランド品評会(17:10～19:40)
村で活躍する事業所に興味をもっていただくために、事業所の情報(商品に対する思い、秘話、背景など)を発信します。

・ちびっ子縁日(17:10～19:40)
射的、金魚すくいほか

・飲食物販(16:00～19:40)

・花火大会(20:00～20:30)
祭のフィナーレを飾る打ち上げ花火。山々に響きわたる大迫力の音と、ダム湖面に映しだされる美しい光景をぜひご覧ください。

主催 かみせ祭実行委員会
後援 川上村

川上村商工会経営分析セミナーのお知らせ

・「経営分析セミナー」法人企業向け【7月13日(木) 13:30～15:00】
自社の経営比率分析(B/S・P/L)により安全性・収益性を考える

・「経営分析セミナー」個人企業向け【7月20日(木) 13:30～15:00】
自社の経営実数分析(P/L)により経営の無駄を考える

講 師 ㈱大和ビジネスソリューション・代表取締役 村島喜信(中小企業診断士)氏

対象事業所 商業・サービス業(従業員5人以下) 建設業・製造業(従業員20人以下)

【問い合わせ先】 商工会 TEL 52-0127

川上小学校 朝の風景！

川上小学校の朝は、登校する子どもたちの元気なあいさつで活気づきます。すぐに体操服に着替え10分間の「がんばりタイム（体力づくり）」。終わると、すぐに教室へ。静かに本を読んでいる子どもたちの姿が見られます。「朝の読書」は、8時30分からの10分間。学校中が静まり返り、どの教室からも本のページをめくる音だけが聞こえてきます。

今、
学校で

朝のあいさつ

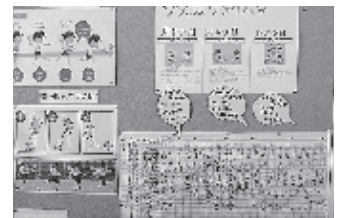
分団ごとに登校してきた子どもたちが校門前で横一列に並びます。分団長の「おはようございます」の声に続き、元気なあいさつの声がかたまっています。その声は、校舎にいても聞こえるほど！



「がんばりタイム」

基礎的な体力をつくり、体を動かすことの楽しさを味わうとともに日常的な遊びにつながるよう「がんばりタイム」を設けています。

1学期は、外遊びチャレンジ（ペアドッジパス・ペア馬跳び・ペアキックパス）に挑戦しています。



ミニお話会



児童玄関
ぶらり途中読書の旅



図書室前
ミニお話会の感想

朝の読書



「朝の読書」

本を読むことが好きな子どもにしたい！さらには文章を読み取る力を育てたい！と「朝の読書」の時間を設けています。図書委員や教員による「ミニお話会」も行っています。

お話の会「雫」の方による読み聞かせの開催や村立図書館とも連携して読書活動を進めています。

教育かわがみ

第54回 教育長通信

☆新学校評議員の紹介

この度両中学校長の推薦を受け中奥（字 粉尾）春増文代氏に村学校評議員を委嘱しました。

春増氏は川上村で子育てをされ、3人のお子様は川上東小と川上中学校の卒業生です。御自身も村内の学校の卒業生で、8年間の村内保育園での勤務経験を持っておられます。今後はこれらの経験を活かし、子供たちや村学校教育にご提言をいただけることを期待しております。



春増文代氏

☆あいさつ

この度、村の学校評議員をお受けすることになりました。無限の可能性を持つ子供たちの健やかな成長に少しでもお役に立てればと

思っております。

皆様のお力添えを頂きながら地域全体で子供たちや学校教育を見守っていただければと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

☆学校評価制度について

学校評価の目的は学校改善と説明責任です

学校評価は、学校が教育活動や学校運営の目標を達成するための取組の状況を点検・評価して、その結果を学校改善に生かすために行います。

また、保護者や地域の方々から寄せられる期待に応え、より信頼される学校づくりを進めていくためには、学校評価を適切に実施するとともに、その結果を公表することが大切です。

学校評価の実施を通して、学校に関わる多くの人々と情報のやり取りがなされ、連携を図ることにより、開かれた学校づくりが推進されます。

☆学校評価の方法

学校評価には次の3つの方法があります

①自己評価

教職員自らが行うもので、学校

評価の最も基本となるもの。

②学校関係者評価

①の自己評価の結果について、保護者や学校評議員が行う評価。両校のPTA会長と学校評議員併せて4名が評価します

③第三者評価

学校とその設置者が必要であると判断した場合に、外部の専門家等によって行う評価。村では3年前から、山梨大学教授日永龍彦先生に評価と御指導を受けています。

このように、川上村では「義務教育プラン」を基に小中の教職員が連携を強めて教育に取り組むと共に、これら三つの方法により適切な学校評価を行っています。

☆学校評議員の役割

学校関係者評価を行います。校長先生が学校外（保護者や地域の方々）の意見を幅広く聞かせてもらうための要員です。

従って、中学校長の求めに応じて、学校運営について意見を述べます。これにより、地域に開かれた学校づくりを推進し、学校が家庭や地域と連携しながら、特色ある教育活動を展開することが出来ます。

◇7・8月の学校の動き

8 (火)	7 (月)	5 (土)	4 (金)	3 (木)	2 (水)	1 (火)	31 (月)	28 (金)	27 (木)	26 (水)	25 (火)	24 (木)	22 (土)	21 (金)	20 (木)	19 (水)	18 (火)	17 (月)	15 (土)	14 (金)	13 (木)	12 (水)	11 (火)		
県水泳記録会	校内水泳記録会	川上村かみせ祭り		水泳教室⑤	水泳教室④	水泳教室③	陶芸教室	水泳教室②	水泳教室①	海浜交流学習	加太小学校訪問		写真教室	交流学習会	加太小学校来校	一学期終業式	全校清掃	給食終了日	立哨指導	祝日	全校水泳	県・村教委学校訪問	交換授業	園児来校	全校水泳
						全校登校日					県体(卓球個人)	県体(陸上)	県体(陸上)			給食終了日	三者懇談会	三者懇談会	海の日	卓球南和カップ試合				〈中学校〉	

かわかみことば特集

各地区の方言を紹介するにゃ〜

西
河
編

山 言 葉

- | | |
|----------------|----------|
| ○ めんば | めんつ |
| ○ うちがひ | めんつを入れる袋 |
| ○ ちょうば
けんずひ | 間食 |
| ○ じょうげ | |
| ○ おいねだい | 泊りがけの山仕事 |
| ○ おく | 背負子 |
| ○ かねし | 仕事を終わる |
| ○ むくる | 皮をはぐ仕事 |
| ○ かいぎり | 皮をはぐこと |
| | 全部伐ること |

最近テレビで全国各地の方言が取り上げられ、ドラマなどでも昔なつかしい言葉が語られています。もちろん私達の村でも、昔の言葉で話されている方がいます。

広報編集委員会では、温もりのある方言を大事にし、先人から伝えられた文化を後世に残すため、各大字を訪問し、取材をさせていただきました。

隣近所の貴重な語り文化としていつまでも残される事を願います。今後各大字を取材させていただきます。

(尚、昔から伝わる方言の性質上、そのまま掲載致しました)

方言クイズ

何のことかわかるかな？

- すんぼる
- きける

※答えは特集の中にあります

家庭と生活

○ おどさん	}	父
おっ↑ちゃん↓		
○ おかちゃん	}	母
おかん		
○ ばば	}	祖母
おばちゃん		
○ じい		祖父
○ やろっこ		たばこ入れ
○ へつつい	}	かまど
くど		
○ たなもと		炊事場
○ しゃっぽん		帽子
○ けんちまゆき		ふそゆき
○ あばばい		まぶしい

日常会話

○ やばい	不都合な	
○ あいから	普段から	
○ きける	}	しんどい
けだるい		
えらい		
○ せんど	大変な	
○ すんぼる	水に潜る	
○ ええがゆふ	ゆいだらう	
○ そやにゃあ	そうです	
○ たばる	ゆたたく	
○ まかす	(水を) 送ること	

遊び

○ しげき	陣取り合戦
○ いとどり	あやどり

食べ物

○ ころりゃんめし	どろきびごはん	
○ いもおかい	芋の入ったおかゆ	
○ おふま	}	麦の入った代用飯
ふまし		
○ ひずかし	おやつ	

語り部さん (敬称略)

新田 量脩	上田 稔一
牧山昭太郎	上田 佳美
下西 商子	上西 一男
新井 繁壽	



ご協力
ありがとうございました！

『親子わくわく「梨狩り」 & 「竹灯りづくり」体験』 参加者募集！

と き 9月16日(土) 午後1時現地集合(午後5時頃解散予定)

と ころ R I K A E N (りかえん) 奈良県五條市東阿田町217-11
駐車場あり

参加費 無料

対 象 小学生の子どもとその保護者

定 員 15組(子どもと保護者合わせて1組は原則4人まで)

※応募多数の場合は抽選を行い、当選者には8月31日までに事務局(和歌山市企画課)から参加決定通知書及び詳細案内を郵送します。

締切り 8月18日(金)

【申込・問い合わせ先】 水源地課 TEL 52-0111

森と水の源流館だより

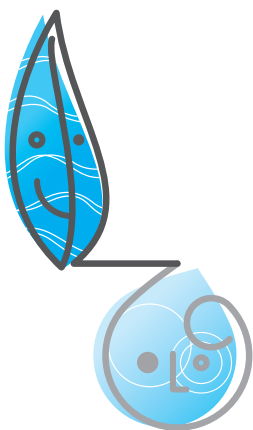
July, 2017 vol.176

TEL 52-0888 FAX 52-0388 (水曜休館)

川上村の名所・旧跡 其の十六

「大鯛林道 (中奥)」… 中奥の水源施設の奥に、川に沿って木馬道、及び石垣や橋の跡が残っています。見どころは大鯛の滝の岸壁をくり抜いた隧道です。ただし、崖に作られた道の幅は1m程もなく、大変危険ですから、手前から見学してください。

※村内の名所・旧跡を簡単に紹介します。エコツアーなどに活用できるように情報を充実させたいと思います。



6月の水源地の森

今年の6月は梅雨入りしても雨の降らない日が続きました。しっかりとしているはずの6月の吉野川源流・水源地の森の土壌もカサカサで風が吹けば砂埃も上がりました。地上の水を水蒸気にして雲を作る太陽のエネルギーは、間違いなく去年も今年も地球に届いています。いっどこでこの雨が降るのか気がかりです。



6月の水源地の森

6月9日に水源地の森に行くと、2匹のアマゴが川でかみつきのけんかをしていました。アマゴのことを川上村では、アメゴ、アメノウオのほか、上谷ではヒラコ、さらに粉尾では、大きなアマゴをヒラコ、小さなアマゴをエンドウダイと呼び名に多様性があります。木の名前では、トガサワラ



かみつきのけんかをするアマゴ

は「カワキ」、ツガは「トガ」、アブラチャンは「ムラダチ」と言います。「広報かわかみ」でも各地の方言の特集が組まれています。「かわかみ弁」とひとくくりにできないほど地区によって多様です。

ユネスコが平成21年に発表した“Atlas of the World's

Languages in Danger”によると、世界の約2,500の言語が消滅の危機にあるそうです。その中には日本のアイヌ語や与那国語など8言語が含まれます。言語の消失は先人が積み上げてきた文化の消滅を意味します。作家の盛口満さん(沖縄大学准教授)は、石垣島の「アンパルミダガーマンタ(アンパルのマンダグロブ林に住むメダカガニの歌)」という民謡に15種のカニが歌われていることを紹介しました。メダカガニが「メダガーマ」、シオマネキが「ムミッピカン」と方言で歌われていますが、歌の中のほとんどのカニは正体不明になっているそうです。つまり、石垣島でのカニの識別の文化が途切れてしまい、言葉に意味(言霊と言っていていいかもしれませんが)が無くなってしまいました。地域の自然環境と人とのつながり、絆の消失と言えるかもしれません。

各地の方言も危機的な状況に変わりはなく、各地で「方言教育」が始まるなど方言を見つめなおす動きが出ています。先人から文化(＝地域の良さ)を引き継ぐためにも方言を大切にしたいものです。

みんなで考えよう！川上村の環境

その85 ～川の利用マナーを呼びかけ、吉野川の水源を守りましょう！～

活動推進の基本目標

1. 自慢の種（自然資源）を守り育みます。
2. 自慢の種と調和する快適・安全な環境を育みます。
3. 持続可能な仕組みを育みます。
4. 地球環境に対する人類の働きかけの素晴らしい見本となることをめざします。

川上村の川が賑わう季節になりました

夏休みに入ると吉野川やその支流が多くが行楽客で賑わいます。しかし、ごみの放置や迷惑駐車の問題など、地元の人にとっては頭を悩ます時期でもあります。

本年も1人でも多くの人に「水源地の村づくり」の取り組みを伝えることで、みんなが気持ちよく川を利用できる環境づくりをめざします。

啓発チラシで環境への意識を高めます

川上村の「水源地の村づくり」の取り組みや、暮らしと環境のつながりに気づいてもらい、ともに環境保全に取り組んでもらえる協力者になってもらえるよう、川上村の「思い」と「悩み」をイラストにまとめたものを啓発チラシとして行楽客に配布します。



親しみやすい紙面で協力を呼びかけます

吉野川マナーアップキャンペーン実施のお知らせ

- とき 7月21日(金)～8月31日(木)
ところ 吉野川及び支川の河川敷
内容 美しい吉野川を守るため、遊んだ後のゴミの持ち帰りなどマナーの向上を呼びかけます。



行楽客への啓発活動の様子

マナーの悪い人を見かけたら…

吉野川の清流を求めて川遊びに来る人が年々増加しています。それに伴って、川沿いに路上駐車する行為も増え、通行の妨げとなるケースがあります。そんな時は、マナーの悪い人へ直接注意するのではなく、警察（110番）へご相談ください。

【問い合わせ先】水源地課 TEL 52-0111



住まいるネット移住者紹介

『住まいるネット』では田舎暮らしを希望する都市部の方に、空き家を紹介しています。これは、村内の空き家の有効活用や若者の定住・移住の促進、集落の活性化を図ることを目的としています。平成25年からこれまでに、18世帯49名（内小学生以下は16名）の方の移住がありました。

今回は、匠の聚（東川）への就職をきっかけに、白川渡へ移住した百々さんご家族を紹介します。

奈良県吉野郡内を舞台に、写真集制作の撮影で繰り返し川上村を訪れていました。

また、大阪の写真専門学校に勤めていた頃、川上小学校で行われた写真教室での講師や匠の聚ギャラリーでの写真展の開催などを通じて、村と関わらせていただきました。村の方と出会う機会のなかで、地域のつながり、自然と共生する知恵、そして皆さんの村への想いに共感しました。

さまざまなお縁があり、今年4月より匠の聚で勤務することとなり、家族で川上村に移住しました。

多くの方に気にかけていただき、戸惑うことなく日々を過ごさせてもらっています。まだまだ分からないことも多く、ご迷惑おかけすることもあります。百々家をどうぞよろしく願います。

求む！

空き家バンク登録物件

村では、空き家バンクへの登録相談を随時受け付けています。お気軽にお申し込みください。

【問い合わせ先】

定住促進課 TEL 52・0111

川上村役場職員を募集します

受験資格

- ・昭和53年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた人で、地方公務員法第16条に規定する欠格事項に該当しない人
- ・高等学校卒業程度以上の学力を有する人
- ・川上村内に住所を有する者又は、採用後に定住できる方

提出書類

- ・自己紹介書
(HPよりダウンロード又は役場で配布)
- ・写真(縦4cm×横3cm) 2枚
(1枚は自己紹介書貼付け)

試験科目

- ・募集締め切り後に書類選考を実施し、合格者は右記の日程で試験を実施します。
- 第1次試験 教養(高卒程度)・適性検査
- 第2次試験 面接
- 詳しくはホームページをご覧ください。
- お電話にてお問い合わせください。

【問い合わせ先】

総務税務課 TEL 52-0111

募集職種 一般事務職 1名

平成29年 受付期間 7月12日(水) 必着

9月採用

※土・日・祝日は受付できません

試験期日・会場・科目

	第1次試験	第2次試験
試験期日	7月23日(日)	8月上旬
試験科目	一般教養試験 事務適性検査	面接
試験場所	川上村役場	

合格発表 平成29年8月中旬

採用日 平成29年9月1日

募集職種 一般事務職 若干名

平成30年 受付期間 8月25日(金) 必着

4月採用

※土・日・祝日は受付できません

試験期日・会場・科目

	第1次試験	第2次試験
試験期日	9月17日(日)	10月上旬
試験科目	一般教養試験 事務適性検査	面接
試験場所	川上村役場	

合格発表 平成30年10月中旬

採用日 平成30年4月1日



川上俳句会

矢野典子選

特選 笥ともろとともに崖ころがりぬ

前田 景子 (大滝)

〔評〕この表現から臨場感を確と受けとめられる。何故なら落ちた本人の作品であるから。飾らぬともインパクト充分。

特選 城映す植田芭蕉の生誕地

阪本 蓉子 (東川)

〔評〕城が植田に映っている。城のある位置が鮮明。しかも芭蕉の生誕地である。これも単刀直入の表現乍らも読み手には充分に伝わってくる。

特選 夏蔵伊賀国分寺跡にかな

阪本 蓉子 (東川)

〔評〕伊賀国分寺跡に立ち、作者は眼前に夏蔵が勢いよく茂っている点に眼をとめた。この夏蔵という季語がさり気なく一句に馴染み賜った一句である。

佳作 山住みに山の濃くなる五月かな

上田 一郎 (伯母谷)

美男子に試飲注がれて新茶買ふ

辻井 清子 (大滝)

新茶摘みさっそく茶粥炊きにけり

新子谷生子 (北和田)

入選 暮今年は早も裏口に

竹田サダ子 (大滝)

庭稻荷祝詞に囀り重なれり

望月 彰美 (迫)

裏返し干す白足袋に南風かな

古瀬 和子 (大滝)

山蟹と久の出会いを喜べり

住川 準典 (武木)

ゆきのした咲く崖庭に朝日差す

栢 恭子 (東川)

てんいち先生



(川上村人権・同和問題啓発活動推進本部)

診療所からのお知らせ

【整形外科診察日】

とき 7月19日(水)
受付時間 午前8時30分～11時30分

【巡回診療日】

とき 7月25日(火)
受付時間 午後2時～3時30分
ところ ふれあいセンター(北和田)

※受診される方は保険証をご持参ください。

【問い合わせ先】

川上診療所 TEL 52-0344



ちよつと待った! 使用の前に確認を!

～使用前の確認、定期的な点検はしていますか?～

2017年に入り、1月から4月中旬の時点で、薪を使用する風呂の空焚きが原因により起こる火災が多数発生しています。このような火災は、どれも使用上の不注意から発生しています。

1. 浴槽の栓がずれていませんか?
2. 劣化により、排水口との間に隙間がないですか?
3. すぐに消火できるよう焚口付近に水バケツ等の準備をしていますか?

風呂を焚く際は、浴槽に水が溜まっていることの確認や煙突が設置されている風呂にあっては、煙突内の定期的な清掃



と点検を忘れずに行いましょう。

火災が発生した場合、火を消したと思っても、**再燃する危険**がありますので、すぐに119番に通報していただきますようお願いいたします。

【問い合わせ先】奈良県広域消防組合 吉野消防署
TEL 0746-32-1011

のびっ子広場

とき 7月25日(火) 午後2時30分～4時
ニコニコ☺マザールーム
8月2日(水) 午前10時～11時30分
水遊び

持ち物 お茶・タオルなど

【問い合わせ先】

やまぶき保育園 TEL 52-0019
住民福祉課 TEL 52-0111

人権啓発標語の優秀賞を受賞!

平成29年度「人権啓発ポスター・標語」の審査会が行われ、応募総数19,113点・県提出作品数350点の中から

「ありがとう そのひとことで ぽかぽかに」

三宅 叶恵さん(川上小学校5年生)

が優秀作品に選ばれました。



イラスト おがわ まな

お詫びと訂正

広報かわかみ6月号の3ページ中段の行政相談会の記事で、小西さんの相談委員としての在任期間が「5期12年」となっていますが、正しくは「5期22年」です。訂正するとともに深くお詫び申し上げます。
広報編集委員会

お誕生日おめでとう! 「ますます元気に大きく育ってね」

広報の発行月に誕生日を迎える小さな子どもたちを紹介していきます。子どもたちは村の宝です。

皆さん大事に見守っていきましょう。

※年齢表記は今月の誕生日で迎える年齢を記載しています。(敬称略)



ますたに ゆうた
梶谷 悠太(東 川)

(平成27年7月25日生まれ・2歳)

泥遊びに水遊び、お外遊びが大好きな悠ちゃん。お兄ちゃんになり、これからの成長をますます楽しみにしています。

HAPPY BIRTHDAY

イボタノキ (モクセイ科)
北海道(渡島)〜九州、朝鮮、中国東北部に分布する落葉低木で、主として温暖な地域の林縁によく見られる。5〜6月に総状花序を出し、小さい白い花を密につけ、合弁の花冠(花びらの集合体)は筒状漏斗型で7〜9mm。
イボタロウカイガラムシが寄生し、樹皮上にイボタ蠟を生ずる。ロウソクの原料のほか、桐タンスなどの艶出しや、障子など建具敷居のすべり剤として用いられる。



かわかみの草花

村の人口

6月30日現在			
人口総数	1,502人	(-1人)	
男	711人	(+2人)	
女	791人	(-3人)	
世帯数	833世帯	(+1世帯)	
6月中の異動			
転入	5人	転出	3人
出生	1人	死亡	4人

3, 572円 匿名希望
3万5千円 川上第二小学校
昭和18年度卒業生一同

一般寄付金を左記の方からいただきました(敬称略)

川上村では、「川上村応援寄付金」と称してご寄附を募っています。左記の方から寄附金がありました。
1万円 越智 真理

川上村応援寄付金

玉井 幸子 (上多古)	6月19日	84歳
牧山 昭次 (西河)	6月14日	84歳

おくやみ (敬称略)